らすら読む

嘆けとて 月やは物をもの 思はする

かこち顔なる わが 涙かな

西行法師

いねいになぞる

③右のお手本をかくして読む

	か、	月	嘆	
	C	や	け	
••••	ち	は	と	
	顔	物	て	
	な	を		
	る			
		思		
	わ	は		
	カヾ	す		
	涙	3		
	か、			西
	な			行
				法
				白币

④何も見ずに言う (暗誦)









すらすら読む

来ぬ人をまつほの浦の

焼くや藻塩の 身もこがれつつ

夕凪に

藤原定家

いねいになぞる

③右のお手本をかくして読む

	焼	#	来	
	<	つ	ぬ	
••••	や	ほ	人	
	藻	の	を	
•	塩	浦		
	の	の		
••••				
	身	タ		
	も	凪		
	C	15		
	カヾ			藤
	れ			原
	つ			定
	7			家

④何も見ずに言う (暗誦)











すらすら読む

前大僧正行尊

あはれと思へ

がもえ 山 桜

もろともに

知る人もなし

花より外にはないほか

②ていねいになぞる

③右のお手本をかくして読む

	花	あ	も	
	よ	は	3	
	IJ	れ	と	
	外	٧	も	
••	に	思	IC	
		^		
	知			
	る	Ц		
	人	桜		前
	も			大
	な			僧
	L			正
				行
				茜

④何も見ずに言う (暗誦)









## 百人一首の暗誦 桃

四

①すらすら読む

祐子内親王家紀伊ゆうしないしんのうけのきい

音に聞く 高師の浜の あだ波は

, 引 て )

かけじや袖の ぬれもこそすれ

② ていねいになぞる

③右のお手本をかくして読む

$\overline{}$				
	か、	高	音	
	け	師	に	
	じ	の	聞	
	や	浜	<	
	袖	の		
	の			
		あ		祐
	ぬ	だ		子
	れ	波		内
	ŧ	は		親
	2			王
	そ			家
	す			紀
	れ			伊

④何も見ずに言う(暗誦)









## すらすら読む

高砂の

尾上の桜 咲きにけり

外山の霞かすみ 立たずもあらなむ

前 中納言匡房 な ごんまさふさ

外 尾 高 砂 0 0 霞 桜 立 咲 き た ず 1 け 前 ŧ あ l) 中 6 納 言 な む 匡

房

③ 右

のお手本をかくして読む

2

いねいになぞる

④何も見ずに言う (暗誦)









